

第 13 回 CO2 環境対策技術研究会

日時：2012年5月18日(金)13:00～17:00

場所：東京ガス千住 Ei-WALK

第13回研究会は、東京ガスの「千住 Ei-WALK」を見学し、東京ガスの環境対策について講演をいただいた。「千住 Ei-WALK」は2011年9月に荒川区の東京ガス千住テクノステーション内に開設されたもので、1) 地域スマートエネルギーネットワーク 2) 暮・楽・創(くらそう)ハウス、3) アス×ラボ 4) 水素ステーションを見学できるが、今回は1)～3)を見学させていただいた。講演は、「エネルギー・環境政策の見直しと東京ガスの地球温暖化対策」と題して、国の震災後のエネルギー・環境政策を踏まえた、東京ガスの「チャレンジ 2020 ビジョン」「温暖化対策ガイドライン」等について講演をいただき、意見交換を行った。見学会・講演会への参加者は25名、交流会参加は15名でした。

スケジュールと内容は以下のとおりである。

1. 集合：2012年5月18日(金)12時40分 集合場所：JR 南千住駅改札口
2. 「千住 Ei-WALK」見学：13:00～15:00
3. 講演と質疑応答：15:15～17:00 B館会議室
「エネルギー・環境政策の見直しと東京ガスの地球温暖化対策」
東京ガス 環境部 環境技術グループ マネージャー 勝倉 宏次郎様
4. 交流会：17:30～19:30 魚民南千住駅前店

1. 見学：14:00～15:00

周囲がガラス張りのコンセプトルームで施設の説明を聞いた後、2班に分かれて1) 地域スマートエネルギーネットワーク 2) 暮・楽・創(くらそう)ハウス、3) アス×ラボの施設を見学させていただいた。

コンセプトルーム内



挨拶する太田北部支店副支店長

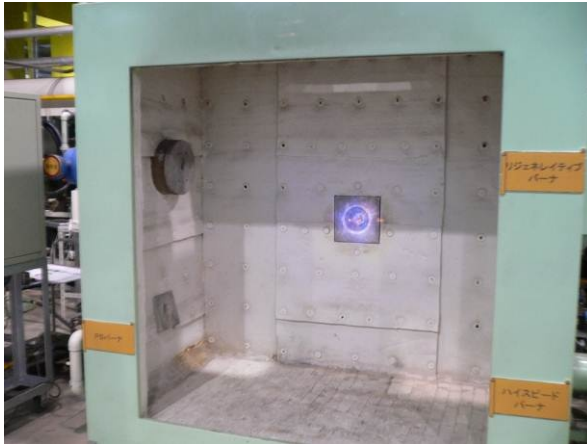


アス×ラボ

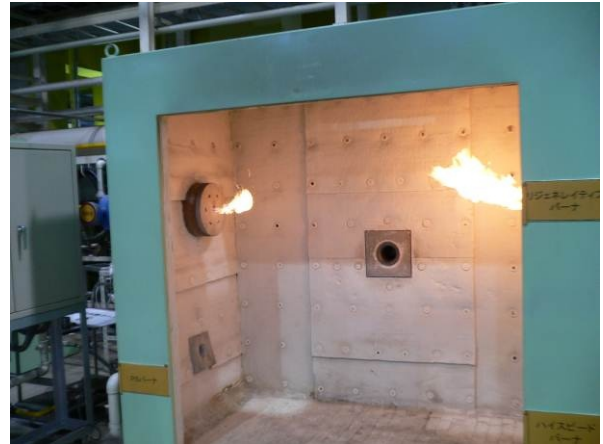
B館内で、産業用の燃焼技術を最新の燃焼設備と共に見せていただく。

高温を必要とする産業用の炉で従来の重油を燃焼させる炉からの転換を進めているとのこと。

フラットフレイムバーナー



リジェネレイティブバーナー



千住スマートエネルギーネットワーク

地域全体でエネルギー利用効率を最大化するスマートエネルギーネットワークの実証実験を行っている。低炭素なエネルギーを優先的に利用する制御技術、変動する再生可能エネルギーの安定化技術や荒川区特別養護老人ホーム「サンハイム荒川」との双方向熱融通などを行っている。

A館の屋上に上がって、4種類の太陽光発電パネルを見せていただき、東京ガスの敷地の向かい側にある荒川区特別養護老人ホーム「サンハイム荒川」を上からシステム全体を見せていただいた。「サンハイム荒川」とC館（エネルギーセンター）とはパイプで結ばれており、熱の双方向熱融通を行っている。B館の壁面の太陽光発電パネルとコンセプトルーム前の太陽熱集熱器からもエネルギーを得ている。

A館の屋上の太陽光発電パネル



荒川区特別養護老人ホーム「サンハイム荒川」



A館の屋上からはスカイツリーが見える。2班の参加者



暮・楽・創(くらそう)ハウス

太陽エネルギーと燃料電池(エネファーム)を組み合わせたちょっと先を行くライフスタイルを提案している。停電時に燃料電池と蓄電器(バッテリー)を組み合わせたシステムや、夜間の電気自動車への充電、床下収納の風呂などいろいろなアイデアが展示されている。

暮・楽・創(くらそう)ハウスの外観



暮・楽・創(くらそう)ハウスの2階室内



2 講演と質疑応答：15：15～17：00 B館会議室

「エネルギー・環境政策の見直しと東京ガスの地球温暖化対策」というテーマで東京ガス 環境部 環境技術グループ マネージャー 勝倉 宏次郎様から講演をして頂いた。

勝倉講師と参加者



講演を聞く参加者



以下の項目に従って講演が行われた。

- 1) 震災後の我が国のエネルギー・環境政策
- 2) チャレンジ2020ビジョン
- 3) 温暖化対策ガイドライン

1) では、国の「エネルギー・環境会議」「総合エネルギー調査会 基本問題委員会」「中央環境審議会 地球環境部会」等の動向、方針について整理していただいた。

2) では、それを受けての東京ガスのビジョンとしてLNG バリューチェーンの高度化の次の5つの目標について話をして頂いた。

原料価格の低減を図るとともに、海外事業を拡大します。

エネルギーを安全かつ安定的に供給します。

さまざまなニーズに合わせたエネルギー・ソリューションを提供します。

次世代を見据えた技術開発・IT 活用を推進します。

これまで以上にスリムで強靱な企業体質を実現します。

3) では、東京ガスの温暖化対策としての「2009年度～2013年度グループ中期環境戦略」「グループ環境保全ガイドライン」について話をしていただいた。ガイドラインではお客さま先における温暖化対策として「お客さま先CO2 排出抑制量目標」を設定しているとの説明があった。

お客さま先 CO2 排出抑制量（対11年度比較）

年度	12年度	20年度
目標	80万トン	800万トン

4. 交流会



- 1) 参加者は、大石副会長を含め 15 名。
- 2) 魚民南千住駅前店で開催 値段の割に料理も飲み物も豊富で好評。
- 3) 今回は個室で、周りにはうるさかったが、自己紹介も含めて、和気藹々の交流が出来た。
- 4) 見学・講演の内容も参加者には好評であった。

以上

(文責：内藤 堅一)

この名称は、未来を見据えながら指す“WALK”という

「造るを創る」燃焼技術がここに。

日々、産業界への技術開発や各種サービス、技術教育などを行っている複合型施設です。東京ガスの原点ともいえる“炎をまよつる”燃焼技術力を、最新の燃焼設備とともに“体感”いただきながらご紹介いたします。

都市ガスから水素へ。

燃料電池自動車 (FCV) の実用化に向け、都市ガスから高効率に水素を製造する技術や、車載水素タンクへの水素充填方法の実証などを行っています。

荒川区立特別養護老人ホーム「サンハイム荒川」

スマートエネルギーネットワーク (千住SEN) 使う。

スマートエネルギーネットワークの実証試験を行っています。技術、変動する再生可能エネルギーの安定化技術や荒川の双方熱融通などを紹介いたします。

コンセプトルーム

環境に呼応する空間。

東京ガスのエネルギー技術への取り組みに関するプレゼンテーションやEi-WALK各施設のご案内などを行います。

2 住まいとエネルギー

Ku Ra Sou 暮・楽・創ハウス

“家”とエネルギーの新しい関係。

ちょっと先に行く、異なる2つのタイプの住まいをベースに、家庭におけるエネルギーを提案するコンセプトハウスです。太陽エネルギー、燃料電池などにより使うという、エネルギーと家、社会の新しいつながりをプレゼンテーション